

No.56

そよかぜ会報

NPO法人メンタルサポート野田そよかぜ
 事務所 野田市目吹2578-4 TEL: 04-7125-3955
 HP: <http://nodasoyokaze.jimdo> E-mail: tsubasasa@road.ocn.ne.jp

平成 29 年 1 月 20 日 発行

年頭の「ご挨拶」

明けましておめでとございます。
 輝かしい新春を迎え、皆様、希望を新たにされておられることと思えます。

昨年四月一日から「障害者差別解消法」が施行される等社会福祉施策がきめ細かく配慮され、手厚くなりつつありますことは、ご同慶の至りであります。
 当法人におきましても、社会ニーズに即応すべく、種々改善工夫をしながら事

業を展開しているところ
 であります。

昨年十一月二十七日(日)には、「野田市総合防災訓練」に、メンバー十人、スタッフ二人が参加し、大地震発生に伴う避難訓練等を行いました。
 十二月一日(水)には、「市役所つくしんぼ」で開催された「心のバリアフリーコンサート」につばさ、すまいるのメンバー十二人と私、スタッフ四名が参加し

理事長 齊藤 登美生

「翼をください」「ふるさと」等を熱唱し好評を得ました。

十二月十九日(月)に、つばさ「クリスマス会」を開催し、メンバー二十人、私とスタッフ九人、「ビオラの会」から1人が参加し、ゲーム等が楽しく行われました。次に、「つばさ」における作業の状況ですが、作業の分担、進め方、完成品のチェック体制を工夫し、良い品質の品物を効率良く

完成させるよう努力した結果、作業を発注して下さる顧客会社は二年前の四社から七社へと三社増加しました。そして、納品の質が向上したというところで、納品単価を引き上げて下さった企業も二社ありました。その結果、工賃収入が増加しましたので、昨年末にメンバーさんにお渡しした賞与は、従来の倍近い金額をお渡しすることが出来ました。

また、「グループホーム」そよかぜハウス」は、現在十三名の入居定員でABCの三棟を保有していますが、ニーズが高いことから、更にD棟を開設する方向で検討中であります。

このような法人での生活を楽しく過ごしていくためのメンバー・スタッフの心得として、左記を毎朝始業時に全員で唱和していますが、本年もこの心構えを皆さんが常に拳々服膺し、楽しい生活をするよう念願する次第であります。

「元気に挨拶しましょう」
 おはようございます・おつかれさまでした
 ごくろうさまでした
 ありがとうございます
 しつれいします
 すみません・ごめんなさい
 今年も、理事、職員一丸となり、より良い支援をするよう決意を新たにしておりますので、皆様方の更なるご支援をお願い致します。

第三五回 野田市総合防災 訓練に参加して

平成二八年十一月二十七日(日)野田市総合防災訓練の避難行動要支援者誘導訓練に、つばさメンバー十名、スタッフ二名が参加しました。訓練としては、野田隆起地帯を震源とする大地震が発生し、地震規模は、マグニチュード七・〇と推定、震度は六強、家屋の倒壊火災の発生、各施設も甚大な被害を受け、負傷者も出ているとの想定で行われました。障がい者等の避難誘導として、倒壊の危険性がある総合福祉会館から避難場所まで移動し、安全を

確保しました。

その後、地震体験装置で震度七を、メンバー・スタッフともに体験し改めて、揺れのすごさを感じました。災害時に活躍するジープにも乗せてもらい写真に収めることもできました。



訓練に参加し、いつ起こるのか分からない災害に、冷静に対応する事が、身を守ることだと理解でき、定期的な防災訓練を行っていく事が大切であると学びました。最後に、災害時の炊き出しご飯として提供される塩おむすびを美味しくいただきました。

くいただきました。

(支援員 下川)



野田市主催の 文化祭に参加

平成二八年十一月三日(木)〜同五日(土)まで三日間、野田市主催の文化祭が福祉会館で開催されました。当法人の所属する障がい連の各施設の案内ポスター、

パンフレット等の展示は同会館の3階フロアで華やかに飾り付けられました。

当法人は、その他、すまいるのメンバーさんの製作物等々も展示しました。十一月四日(金)には、理事長と私の二人で午後の当番を

しました。来年もまた、いろいろ工夫を凝らし参加して行きたいと思っております。(施設長 鳥羽)

で開催された「福祉の街づくりフェスティバル」に参加しました。文化祭に使用した当法人のポスターやパンフレット、すまいるの製作小物等を会場に展示しました。当日は、あいにくの雨模様で出足も少ないのでしたが、展示に参加した各施設のスタンプラリーもあり、それなりに賑わいました。特にすまいるの小物に対する関心は高く、来年度は、すまいるのスタッフにも出席してもらい、より関心を引くような会場設定をして頂けたら

と思います。スタッフ参加は私一人でしたので一日が長かったです。(指導員 渡辺(健))

福祉の街づくり フェスティバルに参加

平成二八年十一月九日(土)文化会館1階フロア

(指導員 渡辺(健))

お料理教室に参加

平成二八年十一月二五日
 (金)保健センターで行な
 れた障団体連主催のお料理
 教室にメンバー四名、スタ
 ッフ一名、計五名で参加し
 ました。鮭の千草焼き、豆腐
 とザーサイのスープ、デザ
 ートを作りました。皆で
 協力し、とてもとても美
 味しく出来ました。最後に、
 男性メンバーから「女性の
 大変さが改めて分かりま
 した」と言う声が上がりに
 ました。メンバーそれぞれが、
 良い経験になったなと感じ
 ました。次回が、楽しみです。
 (支援員 千久田)



障団体主催

心のバリアフリー

コンサートに参加して

平成二八年十一月一日
 (木)恒例となりました障
 団体主催の心のバリアフ
 リーコンサートが市役所
 1階「つくしんぼ」横のフロ
 アで開催されました。当日
 は、つばさのメンバー六名、
 すまいるのメンバー六名、
 つばさ、すまいるのスタッ
 フ合わせ都合一六名が参加
 しました。
 オープニングで当法人の
 つばさ・すまいるのメンバ
 ーさんたちとのぞみ・きら
 らのメンバーさんによる
 「翼を下さい」の合唱、
 そのあとは、会場の参加者

全員による同曲の合唱が
 あり、楽しく明るい雰囲気
 でスタートしました。その
 後、鈴木市長の挨拶があり、
 視覚障がい者の皆さんによ
 る、それは素晴らしい歌唱
 や笛の演奏が続きました。
 その後もピアノ、サククス
 の演奏会があり大変盛り上
 がりました。最後は、手話を
 交えた「ふるさと」の合唱
 を参加者全員で行いました。
 一般のギヤラリーの方々も
 参加し素晴らしいコンサ
 ートとなりました。理事長夫
 妻も見に来られ感激した様
 子でした。来年も参加し、
 「翼を下さい」を大きな声
 で合唱したいと思います。
 (施設長 鳥羽)

クリスマス

本年度は、つばさ、すま
 いるの別日程で開催しまし
 ました。

つばさ

十二月十九日(月)

毎年恒例のクリスマス会を
 開催しました。当日は、メ
 ンバーと職員、そして
 理事長、ピオラの会の小山
 さんと合わせて三十名の
 参加で盛大に開かれました。
 理事長のご挨拶に引き続き、
 クリスマスソングを全員で
 歌い雰囲気が出てきたとこ
 ろで、個人戦のビンゴゲー
 ム、チーム戦では、間違い
 探しゲームやペットボトル
 ダーツで大いに盛り上がり

ました。楽しい昼食には、
 お寿司、女性スタッフが作
 った豚汁、そして頂戴した
 ケーキやゼリーを皆で
 美味しく頂きました。最後
 に、皆がワクワクしていた
 プレゼント交換も笑いなが
 ら楽しい音楽で交換が出来
 ました。来年のクリスマス
 も素敵なプレゼントが届く
 といいですね。
 (支援員 丸山)





すまいる

すまいるのクリスマス会
は、十二月二十二日(金)に
開催しました。メンバーさ
ん十名が参加して大変盛り
上がりしました。

参加メンバーさんの中
は、準備段階から参加して
くれた方もいて、司会、乾杯
の音頭、終わりの言葉など
の盛り上げにも協力し
てもらいました。テーブル
には、食べ切れないほどの
料理と、いつもとは違うゲ
ーム等を行い、それは楽し
いクリスマス会となりました
。最後には、表彰式を
行い、参加してくれたメン
バーさんへ賞状を授与し
ました。沢山の楽しかった

という声が聞けて、スタッ
フとして嬉しく感じまし
た。今後も、多くのメンバ
ーさんが参加してもらえる
ようなプログラムを考え
て行きたいと思っています。
(支援員 長島)

クリスマス会の

感想

つばきメンバー

○ケーキがおいしかったで
す。ゲームもたのしめまし
た。
(瀬能 均)

○サンタクロースのかぶり
物が楽しかったです。プレ
ゼントももらえてよかった
です。
(村崎 広行)

○おすしとケーキがおいし
かったです。ビンゴゲーム
がよかったです。
(野口信男)

○ペットボトルダーツがた
のしかった。おすしもケー
キもおいしかったです。
(波形 崇志)

○ピコ太郎をスタッフさん
達が踊ってくれた姿をう
かがって、新年も頑張つて
お仕事をしようと思いまし
た。ありがとうございます。
とても楽しめました。
(鈴木 里美)

○クリスマス会に風邪をひ
かないで参加できてよかつ
たです。来年も風邪をひか
ないで参加したいと思いま
す。ゲームのビンゴでBI
NGOにならなかったの
で悔しかったです。来年こそ
は、BINGOにして景品
が当たるといいなと思いま
した。
(塩屋 晴男)

○クリスマス会楽しかった
です。ゲームのまちがいき
がしは大変でした。また、
ビンゴゲームでは、はずれ
てくやしかったです。
(真田 剛史)

○いただいたケーキがおい
しかったです
(寺澤 茂盛)

○プレゼント交換が楽しか
ったです。ゲームもおもし
ろくコミュニケーションが
とれてよかったですと思いま
す。
(加藤 邦淳)

○とにかく面白かった。
参加してよかった。
(加藤 義広)

○ペットボトルダーツの時
までとれなかった賞品を
このゲームでは、皆で協
力し二位となり賞品をゲ
ットできたのがよかったです。
(齊藤 香)

○クリスマスでの、ゲーム
がいちばんたのしかった。
それにプレゼントこうかん
もやってたのしかったです。
(瀬端 光弘)

○ビンゴゲームとまちがえ
さがし、ペットボトルダー
ツが楽しかった。お昼に食
べたおすしとケーキがおい
しかった。クリスマスプレ
ゼントももらえてうれしか
ったです。(伊藤 真二)



すまいるメンバー

○すまいるのクリスマス会は、とても楽しく大いに笑ったクリスマス会でした。また、クリスマス会があったらいい。プログラムに入っていて欲しいです。

(Y・K)

○すまいるでのクリスマス会に初めて参加しました。クリスマス会当日まで緊張しましたが、当日になるとジェスチャーゲーム(苦手な人前でのジェスチャー)を心から楽しむことが出来ました。(M・M)

○十二月二十二日はクリスマス会でした。数日前から部屋を飾り付けてクリスマスらしい雰囲気とした中、参加者も多く、楽しい時間

を皆で過しました。楽しみ

にしていたプレゼント交換の中は内緒ですが(…書いています)チョコでした。まだ、冷蔵庫の中で冷え冷えになっていきます。変色する前にはいただきたいと思

ます。スタッフの二人のプレゼントが残

り二人での交換になったであろう事に笑っているのか、後日自身の話をしていたようなので、きつと嬉しいものが入っていたのだと想像します。来年も参加出来たら、また、飾り

付けにこだわってみたり驚かれるようなプレゼントを用意したりしたいと思っ

ています。(ekoさん)
○スマイルのXmasは、参加人数も多く、今年一番の楽しさでした。これで来年度に向けてのけじめがついた感じです。来年のXmas会も、スマイルで皆に会いたいです(GACKT)
○今回、初参加させて頂きました。クリスマスの飾りも前からやっていたので、楽しい雰囲気の中、開催されました。ジェスチャーゲームでは、みんな必死に伝えるようとジェスチャーしている姿がとてもおかしくて、大笑いしました。

(鈴木 なな)

○クリスマス会は、サンドウィッチ作りから始まりました。サンドウィッチはシーチキンマヨネーズとハムチーズと玉子サンドを皆

で作りました。ジエンガで一言とイントロクイズとジェスチャーゲームとか楽しいゲームをしました。最後は、スタッフさんが作ったチーズケーキを頂きました。とても楽しかったです。

(S・Y)

○クリスマス会は、とても楽しかったです。ゲームは難しかったけど楽しめました。食べ物が多く、お腹一杯でケーキは持って帰って家で食べました。とてもおいしかったです。

(なつちゃん)

○十二月二十二日のクリスマス会に参加しました。その中で特におもしろかったのがジエンガで一言!おもしろい質問にユニークな

答えも!

すまいるでのプログラムがあれば参加したいです。

(杉崎 恵子)



相談支援センターより

相談支援専門員の堀口です。みなさんの今年の目標、豊富は、なんででしょうか？先日、ミヒヤエルエンデの「モモ」の「ブレーズ」を思い出しました。「なあ、モモ。とつても長い道路を受け持つことがあるんだ。」掃除夫、ペットの言葉です。「おそろしくて、とても、やりきれない。でも、一度に道路の事を考えてはいかん。わかるかな。次の一歩の事だけ考える。ひと呼吸、次の一掃き。すると楽しくなる。これが大事さ。気が付いた時には、一歩ずつ進んだ道が全部終わっている。」

と言う感覚は、とても大事です。小さな努力、積み重ねが、必ず将来につながるものと信じて、今年も、一日一日を重ねて行きたいと考えています。

(管理者 堀口)

すまいるの近況

「ここ最近のすまいるは、通所人数が落ち着いていましたが、年明けから顔を出していなかったメンバーさんが少しずつ来られるようになり、私たち職員も嬉しく思っております。今年から今までになかった誕生会など考え、プログラムも盛り上げて行きたいと思えます。また、皆さんの意見を取り入れながら、今日も来てよかったなと思っ

てもらえるような「すまいる」に今後もしていきたいと考えています。

(支援員 高橋)

グループホームの近況

そよかせハウスは三棟

(A・B・C)でアパート形式の建物になっており、定員十三名ですが、現在(一月一日)十一名の利用者が入居しています。世話人と生活支援員で相談や日常生活上の援助を行っております。

利用者の安心、快適に生活できることを目標に毎月各棟でミーティングを開き、情報や意見交換を行っております。その他、世話人講座に参加しスキルアップ

も図っています。支援して

いくうえで様々な関係者との連携や、話し合い、会議の必要性を感じています。

世話人や生活支援員の方達には、利用者のご家族等からも感謝されております。これからも利用者の安定した暮らしができるよう、協力していきたいと思っております。今後とも宜しくお願

い致します。

(GHサビ管理者 下川)

研修レポート

昨年の十二月十三日(火)に「千葉県障害者虐待防止・権利擁護専門研修」に行ってきました。テーマは、「行動障害の理解と身体拘束」あきらめない支援」でした。

講師は、日本福祉大福祉

経営学部学部長 綿 祐二 教授でした。講義内容は、障がい者のとらえ方、虐待の考え方、現場における不適切支援、組織としての取り組みなどを一〇〇名の受講者が七、八名のグループになり、ディスカッションをしました。グループのみんなの考え方が聞けたことなどが、とても良い勉強になり、有意義な研修となりました。今回、初めての研修でしたが、今後も、いろいろな研修会に参加して、自己研さん努めて行きたいと思っております。今回はありがとうございました。

(支援員 千久田)